



今月号のテーマは、時間。働き方改革を進めていく中で、時間の話は様々な場面で出てきます。今月ご紹介する2校は、昨年度に比べ一人あたりの時間外勤務時間が減少しています。2校ともさまざまな工夫をしている中で、特徴的な取組やそこから生み出された新たな効果などを紹介します。

Topic ① 時間を生み出すチャレンジ



多くの小学校では、子どもが下校するのは15時半近く。子どもが下校してから、先生方は翌日の授業準備、教材研究などを始めます。放課後の時間を少しでも長く確保できるよう、時程の工夫にチャレンジしているあざみ野第二小学校の、今年度からの取組を紹介します。

午前中5時間授業（毎週金曜日のみ）

月～木曜日

金曜日

8:05	開門
8:20	集会・スキルタイムなど
8:35	朝の会・健康観察
8:45	1校時
9:30	2校時
10:15	中休み (30分間)
10:45	3校時
11:30	4校時
12:15	給食指導
13:00	昼休み (15分間)
13:15	清掃 (25分間)
13:40	5校時
14:25	6校時
15:10	帰りの会
15:25	完全下校

8:05	開門
8:20	朝の会・健康観察
8:25	1校時
9:10	2校時
9:55	中休み (15分間)
10:10	3校時
10:55	4校時
11:40	休憩 (5分間)
11:45	5校時
12:30	給食指導
13:15	昼休み (10分間)
13:25	清掃 (15分間)
13:40	スキルタイム
13:55	6校時
14:40	帰りの会
14:55	完全下校



校長先生

毎週金曜日には会議や打ち合わせ等を一切設定せず、放課後の時間を先生方それぞれが自由に使える時間にしました。定時に退勤する教職員も増えてきました。



先生方のアンケートのご意見から・・・

- ・教材研究の時間が増えて嬉しい。
- ・教員の意識改革（自分で仕事を精査し時間を確保する等のマネジメント）が必要である。
- ・中休みが短いので使い方を工夫する必要がある。
- ・金曜日だけ時程が違うので、他の曜日と比較してあわただしく感じる。



子どもたちがよいと思うこと

- ・早く帰れるのがよい。
- ・（3年生以下）給食前に授業が終わる。
- ・たくさん授業した気分になる。
- ・勉強に集中できる。 など



子どもたちが気になること

- ・授業の開始時刻が分かりにくい。
- ・休み時間が短い。
- ・なぜ金曜日だけなのか。
- ・お腹がすく。 など

Topic ② 時間の質を向上させるためのチャレンジ



小学校では、全ての教科等を担任が受け持っているため、1日5教科分の授業準備をすることがあります。限られた時間の中で、教員が教材研究を充実させ、よりよい授業を行うために、同じ学年の担任間で受け持つ教科を分担する「一部教科分担制」を取り入れる学校が増えてきました。

6年前から始めている黒須田小学校では、授業の質が向上するとともに、学年が1つのチームとなり子どもと関わることで理解が深まり、よりよい児童指導にもつながっています。

先生方にインタビュー

特に4月の学級開きの時期は、ほかのクラスで授業をする中で学ぶことも多いです。学級経営の工夫を見ることができ、それを職員室で話題にしてさらに深めるなど、若手にはとても大きなヒントをもらえます。

学級経営 ◎ 人材育成 ◎



教材研究の時間がしっかりとれています。3クラスで授業ができるので、授業力の向上につながっていると感じます。

よい授業ができる ◎

子どもたちの声



- いろいろな先生から教えてもらえるので楽しい。
- 相談しやすい先生がたくさんできる。

隣の中学校から人事交流している教員

中学校で英語を教えていた専門性を活かすことができます。児童指導は、中学校と同様の効果があります。自分の専門でない教科は、専門性の高い人が教えた方が、高学年は特によいと感じます。 専門性 ◎



校長先生

学年の子どもを、授業を通してしっかりと見ることができるとは、子どもの理解をより深めることにつながっています。

子どもに寄り添う ◎ よりよい教職員集団に ◎

新たなチャレンジ!!

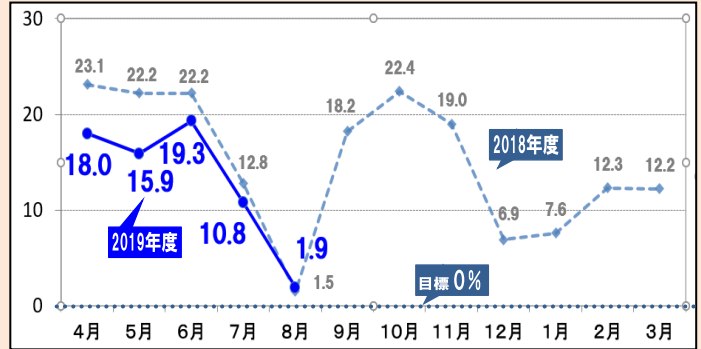
学年で子どもをみていくことのよさを十分に実感していたので、今年度から2年生でも取り組みたいと提案しました。担任だけでは気付かないことも、しっかりとつかむことができています。

児童支援専任

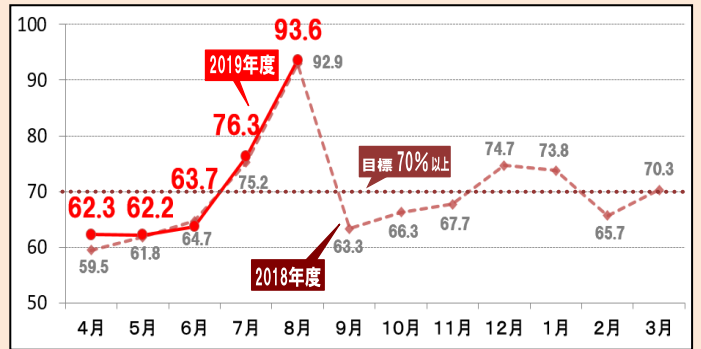
保護者にとって、教科分担は当たり前になっているようです。今年度、新たに2年生で導入することも好意的に受けとめてくれています。

(1) 「教職員の働き方改革プラン」達成目標との比較・推移 (2019年9月9日時点)

項目		目標	
時間外勤務月 80 時間超の教職員の割合		0%	
2019年8月実績			
平均	小学校	中学校	特別支援学校
1.9%	0.1%	6.1%	0.0%
☹️ 前年比 +0.4	😊 前年比 ±0	☹️ 前年比 +1.3	😊 前年比 ±0



項目		目標	
19 時までには退勤する教職員の割合		70%以上	
2019年8月実績			
平均	小学校	中学校	特別支援学校
93.6%	94.5%	90.7%	97.6%
😊 前年比 +0.7	😊 前年比 +0.6	😊 前年比 +0.8	😊 前年比 +0.4



※退勤管理を導入した小・中・義務・特支の教員について、IC カード等による記録から機械的に算出した集計結果。(以下、同様)

(2) 時間外勤務 (2019年8月) の詳細

◇ 時間外勤務の割合 (全校種平均)

時間外勤務 80 時間超が昨年 8 月よりも **約 2 割半 増**

年度	80時間超	45時間超80時間以下	45時間以下
2018年 8月	1.5%	5.6%	92.9%
2019年 8月	1.9%	5.9%	92.2%

◇ 時間外勤務の割合 (校種別割合)

月あたり 時間外勤務	2019年8月		2018年8月	
	100時間超	80時間超 100時間以下	小計 80時間超	小計 45時間超80時間以下
小学校	0.0%	0.1%	0.1%	0.4%
中学校	2.3%	3.9%	6.1%	18.5%
特別支援学校	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
平均	0.7%	1.2%	1.9%	5.9%
前年比	+0.3	+0.1	+0.4	+0.3



8月の時間外勤務の割合では、特に中学校で時間外勤務の割合が昨年度よりも増えた結果となりました。職場のみなさんで夏休みまでや夏休み中の先生方の働き方を振り返り、9月以降の改善に向けた職場でのチャレンジにつなげていくのはいかがでしょうか。

※本資料の数値については、項目ごとに四捨五入により端数処理を行っているため、合計と内訳の和とが一致しない場合があります。